

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	優良賃貸住宅供給支援事業						掲載ページ		
							143		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		45,811	千円	58,049	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅計画課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	良好な賃貸共同住宅（特優良）の入居者に対して家賃の補助を行い、生活利便性が高く、都市ストックも充実している「街なか」への居住促進を図ります。 特定優良賃貸住宅：ファミリー世帯向けの居住環境が良好な賃貸住宅です。市の認定を受けることにより、一定要件を満たす管理会社により適切な管理が行われます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	特優良の入居対象となる方に対して家賃補助を行うことで入居促進を図ります。また、制度をPRするためパンフレットを作成し、各区役所や市民センターへの配置、市政だよりや住宅関連情報誌への掲載、ホームページの活用など幅広く広報活動を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	特優良の入居者への家賃補助		580 戸	500 戸	547 戸	109.4 %	大変順調
	家賃補助の対象となる入居者に対して家賃の補助を行います。						
	広報活動		3 回	3 回	3 回	100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ <b>大変順調</b>
各区役所や市民センターへのパンフレット配置、市政だよりや住宅関連情報誌への掲載							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	活動は順調です。入居率向上、入居促進のための家賃補助は有効と考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業は、民間活力に対し優遇措置を行うことにより、ファミリー世帯向けの優良賃貸住宅を供給する事業です。この優良賃貸住宅に対し、管理期間中は引き続き家賃補助を行っていきます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
「街なか」への定住促進および入居率の向上を図るため、家賃補助は有効であると考えており、引き続き家賃補助を行っていく予定です。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	家庭内事故防止のためのPR						掲載ページ
							143
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		- 千円	- 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、「子育てふれあい交流プラザ」内に、日常の生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や予防方法を紹介します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	「子育てふれあい交流プラザ」の来館者に対し、家庭内の危険箇所や予防方法等を、日常の生活空間で再現し、PRを行うことで、家庭内での事故防止に努めます。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	「セーフキッズ」利用者数	13,643 人	-	12,957 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	より多くの市民に、啓発できたかを図る活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）					
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子どもの不慮の事故を防ぐため、日常の生活空間を再現した「セーフキッズ」での啓発は、保護者に事故予防の方法を具体的に例を示して普及することができており、家庭内の事故防止に有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「指定管理者制度」を導入し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
日常の生活空間を再現し、事故予防の啓発を行うことは、子どもの不慮の事故を防ぐことにつながることから、今後も継続して実施していきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	住宅市街地総合整備事業(拠点開発型)						掲載ページ		
							143		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		148,200	千円	90,940	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	再開発課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	既成市街地にある遊休地や企業未利用地等を活用して、職住近接型の良好な市街地住宅の整備や公共施設の整備を総合的に行い、住宅供給による市街地への定住人口の増加や地域の活性化等を図ります。また、都市機構や住宅供給公社などの公的機関や民間事業者に市が補助金交付などの支援をすることで、住宅供給を促進し、官民協働でのまちづくりに取り組み、街なか居住の推進を図り、快適な居住環境を創出します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	平成21年度に着工した八幡高見地区(123戸)については、本年度完成予定です。また、大里本町地区(131戸)については、平成25年8月完成を目指し、平成23年11月に着工予定です。これらに対し、市は補助金交付などの支援を行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】
	住宅市街地総合整備事業における住宅供給支援戸数(累積)						活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	住宅市街地総合整備事業において、補助金交付などによる民間事業者の支援や道路・公園などの関連公共施設整備を行うことで、市街地(街なか)への住宅供給を進めます		1,506 戸	1,629 戸	1,629 戸		
	(最終目標と最終年度) 1,760戸(平成25年度)				100.0 %	大変順調	
(最終目標と最終年度)					順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成21年度に着工した八幡高見地区(123戸)については、予定よりやや遅れたものの平成23年7月に完成しました。また、大里本町地区(131戸)については、予定どおり平成23年11月に着工しました。これらに対し、市は予定どおり補助金交付などの支援を行い、街なか居住施設の完成に向けて一歩前進しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	同様の住宅供給に比べて、購入者の負担を軽減でき、併せて良好な市街地居住環境の整備に寄与しているものと考えます。また、民間建設(資金)を活用し、その一部を助成することで良質な住宅ストックを形成できます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
平成23年11月に着工した大里本町地区(131戸)が、平成25年8月完成に完成予定です。これに対し、市は補助金交付などの支援を行います。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

<b>事業名</b>	すこやか住宅普及事業						掲載ページ		
							143		
<b>コスト</b>	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		4,776	千円	5,000	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅計画課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	NPO法人北九州市すこやか住宅推進協議会と連携し、子育て世帯や高齢者など誰もが使いやすい住宅に関する情報提供や住宅改造について支援を行い、住み慣れたすまいに長く住み続けることができる住宅の普及啓発に努めます。				<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。	
<b>活動計画</b>	市およびNPO法人のホームページにて建築士事務所・施工業者の募集案内を掲載します。また、登録業者に対し、各種情報発信およびレベルアップ研修等を行い、業者の質の向上を図ります。年2回、市民向けの情報誌を発行するなどし、すこやか住宅の普及啓発に努めます。							
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>		<b>【活動の状況】</b>		
	建築士事務所・施工業者等数の確保	450 社	400 社	444	社	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	子育て世帯や高齢者など誰もが使いやすい住宅改造を行う上での建築士・施工業者のスキルアップを図るための研修会などを行い、質の向上を図り、支援する建築士事務所・施工業者等の数の確保に努めます。			111.0	%			
	情報誌「すこやか」の発行	2 回	2 回	2	回	順調	順調	
「すこやか住宅」に関する最新情報を掲載した情報誌の発行および、各区役所や関係部局窓口へのパンフレット配置、当事業関係者へのパンフレット配布を行います。	100.0			%	やや遅れ	遅れ		

【Check】評価(分析)			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	目標の建築士事務所・施工業者等の数の確保ができたと考えます。高齢者などが使いやすい住宅への改造ノウハウを有する施工業者等の確保ができ、有効性は高いと考えます。
	<b>「経済性」 「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	NPO法人へ業務を委託することにより、経済性、効率性を高めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>本事業は、NPO法人と連携し、高齢者・障害者が安全・安心に暮らせる住まいづくりを推進するための事業です。したがって、「子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり」という施策目的の事業評価事業に馴染まないと判断したため、今後は事業評価は実施しません。</p>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	賃貸住宅供給支援・情報提供						掲載ページ		
							144		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		1,071	千円	1,071	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅計画課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	子育てを担うファミリー世帯に、良質な賃貸住宅を供給するため、賃貸住宅に関する情報の提供を行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	インターネットにより公的賃貸住宅や住み替え等の住宅に関する情報発信を行います。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】		
	「公共賃貸住宅インフォメーション」及び「福岡県あんしん住替え情報バンク」による情報発信							
	インターネットにより、「公共賃貸住宅の情報」や「高齢者や若年世帯の住替え情報」等の情報発信を行います。	情報の提供	情報の提供	情報の提供		大変順調	情報の提供	
						順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	インターネットの普及がすすむなか、インターネットを利用した情報提供は有効であると考えます。また、全国の公的賃貸住宅の情報や福岡県内の住替え情報が一元的に管理されたホームページとなっており、インターネット利用者が情報収集するのに有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国や福岡県などと共同で事業を実施することで、システムの運用経費の低減を図っています。今後も、事業費は継続し、同様のサービスを提供していきます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
引き続き、事業を継続し、公的賃貸住宅や住み替え等の住宅に関する情報発信を行っていきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	住まいの相談支援事業						掲載ページ		
							144		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		7,040	千円	7,881	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅計画課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	住まいに関する相談や情報提供を通して、市民が安心して暮らせるように支援します。				活動実績	以下の活動指標のほか、「住まいづくりの手引き」や「マンション管理の手引き」など、情報誌を作成し配布しています。	
活動計画	相談業務は、年間1,000件弱の相談件数で推移しており、引き続き、市政だより、チラシの配布等により、市民に利用を呼びかけます。また、関係団体との共催事業により、マンション管理基礎セミナー等の情報提供に努めるとともに、住情報提供冊子の作成・配布を通じて、多様なニーズに対応できる相談・情報提供を行います。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	住宅に関する相談（一般相談・特別相談）の実施		956 件	1,000 件	879 件	87.9 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般相談：市立商工貿易会館1階に常設窓口設置（月～金曜日）</li> <li>弁護士による住宅法律相談：（第2・第4木曜日）年間24回</li> <li>マンション管理相談：（第3水曜日）年間12回</li> <li>不動産トラブルに関する宅建相談：（毎週火曜日）</li> </ul>							
	マンション管理基礎セミナー・相談会の実施		2 回	1 回	1 回	100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調
分譲マンション居住者や購入予定者を対象に、マンション管理の基礎的な知識を修得していただくため、マンション管理に関するセミナーや相談会を開催します。								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	住宅に関する相談は幅広く、専門的な分野にわたります。そのため、市民が安心して気軽に相談できるよう、建築士等による一般相談や、弁護士、マンション管理士、宅建協会員などの専門家による相談体制を整えており、きめ細かな対応ができていると考えています。今後も、相談窓口等について、市政だよりやチラシの配布等により広く市民の利用を呼びかけるとともに、市民のニーズに対応するため、これまで以上に相談体制や情報提供の充実を図って行く必要があると考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	住宅に関する相談については、住宅に関する総合的な支援を行っている団体に業務委託することによって、経費の節減を図るとともに、多岐にわたる相談にワンストップで応じる相談体制が整えられることから、市民サービスの向上が図られていると考えています。住情報冊子の作成においては、県及び他市と共同で作成するなど、経済性、効率性の向上に取り組んでいます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
より身近で、かつ専門的な相談体制を整備するため、関係機関や団体と連携して、より充実した事業の実施方法を検討していきたいと考えます。また、福岡県をはじめ、県内自治体や建築関係団体等と協力して、住情報冊子の新規発行など情報提供の充実を図ります。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

<b>事業名</b>	北九州市住宅ローン金利優遇制度						掲載ページ		
							144		
<b>コスト</b>	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		64,234	千円	64,300	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅計画課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	バリアフリー、省エネルギー仕様、耐震仕様などの、人と環境にやさしい住宅の取得の促進を図ります。				<b>活動実績</b>	近年、金融機関の住宅ローンが超低金利となっていることから、本事業を利用しなくても事業目的である「人と環境にやさしい住宅の普及」は達成されつつあると考えられること、平成23年度の認定実績は0戸であったことなどの理由により、事業は終了しました。	
<b>活動計画</b>	バリアフリー、省エネルギー仕様、耐震仕様などの、人と環境にやさしい住宅を普及促進することにより、市民の住宅取得の促進、居住水準の向上を図るため、住宅の取得やリフォームに係るローン金利の優遇（0.1%）を民間金融機関と連携し実施します。							
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	【活動の状況】		
	北九州市住宅ローン金利優遇制度 認定戸数		1 戸	単年度の目標設定はありません。	0 戸	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	一定の要件を満たす住宅の取得やリフォームをする方に対し、市と金融機関とが協働で住宅ローン金利を優遇することで、バリアフリー、省エネルギー仕様、耐震仕様などの、人と環境にやさしい住宅の普及促進を図ります。 （最終目標と最終年度）平成23年度で事業終了				-			
						順調	<b>順調</b>	
					やや遅れ			
					遅れ			

【Check】評価(分析)			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	近年の住宅ローンが超低金利となっており、金融機関からの更なる金利優遇の適用ができずに、平成23年度の認定はありませんでした。
	<b>「経済性」 「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	住宅ローンが超低金利で推移している中、金融機関との連携による本事業の継続は困難となっており、平成23年度をもって本事業を終了します。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
平成23年度をもって本事業を終了します。既融資分については、引き続き優遇を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	多子世帯向け市営住宅への優先入居						掲載ページ
							144
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		- 千円	- 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅管理課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	市営住宅の定期募集に際して、多子世帯（18歳以上の児童が3人以上いる世帯）からの応募に対して、一般抽選枠と別に募集枠を確保することで入居機会の優先的な取り扱いを行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	年間約1,200戸を募集している定期募集において、住宅困窮者（年長者世帯・障害者世帯・母子父子世帯・多子世帯）に対して、一般申込枠と別に優先的に募集枠を確保することで入居者選考において優先的な取り扱いを行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	多子世帯向け募集住戸数		107 戸	100 戸	104 戸	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	定期募集全体として年間約1,200戸を募集しており、そのうちの約3割を住宅困窮者（年長者世帯・障害者世帯・母子父子世帯・多子世帯）向けに優先的に確保し、募集を受け付けています。 （最終目標と最終年度）平成26年度 100戸				104.0 %		
						順調	順調
					やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	他の住宅困窮世帯に比べて募集戸数に対する応募件数が低調であるものの、住宅に困窮する多子世帯の市営住宅優先入居に際して有効な手法です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市営住宅の実質入居率は95%となっており、空き住戸の効率的な運用に配慮し、より多くの募集住戸を対象世帯に提供しています。また、募集業務や管理業務についても「管理代行制度」や「指定管理者制度」を導入し、経済的・効率的な運用を実施しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
より良い募集方法の実施に向けて入居選考方法や提供戸数の見直しを検討します。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	市営住宅整備事業						掲載ページ		
							144		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		1,594,285	千円	2,390,000	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅整備課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	本市では現在、約33,000戸の市営住宅を管理しており、自力では適切な住宅を確保できない低所得者等に供給することにより、市民生活の安定を図ることとしています。 整備にあたっては、子育て世帯や高齢者など、誰もが使いやすい「すこやか仕様住宅」（床の段差解消、手摺の設置、またぎ高さの低い浴槽等）の整備を進めるとともに、安全で快適な住環境を確保するためのシックハウス対策を実施し、子育てしやすい住環境整備に努めています。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	引き続き、老朽住宅の計画的な建替えを実施することで、誰もが使いやすい「すこやか仕様住宅」の整備を進め、子育てしやすい住環境整備を図ります。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	市営住宅の建替え戸数（着工戸数）		117 戸	169 戸	155 戸	91.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	居住水準の劣る老朽化した住宅を建て替え、「すこやか仕様住宅」を供給することが、安全・安心な子育てしやすい住環境を創出することから、活動指標として掲げました。							
							やや遅れ	順調
						遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市営住宅の更新については、狭小で居住水準の劣る老朽化した住宅の建替えとして155戸を着工しました。着工のための調整に時間を要し、当初予定していた事業の一部が実施できませんでしたが、これは24年度に着手します。また、シックハウスの原因となるホルムアルデヒド等の室内濃度の測定を、竣工した全ての住棟で実施し、安全を確認しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	公共工事コスト縮減行動計画のもと、市営住宅においても、建物躯体の単純化、仕様の見直し、間取りや工法等の標準化等によるコスト縮減に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
昭和40年代後半から50年代前半に大量供給された住宅について、今後一斉に迎える更新時期の平準化を念頭に置きながら、今後一層、老朽住宅の建替えを推進し、誰もが使いやすい「すこやか仕様住宅」の整備を進めます。 また、子どもを始めとして入居者の健康を守るため、シックハウス対策を実施し、安全で快適な住環境を整備します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	市有建築物のシックハウス対策						掲載ページ
							144
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		- 千円	- 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	建築課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	室内空気汚染については、ホルムアルデヒド等の化学物質によって健康被害の発生が考えられます。そこで、市有建築物の工事にあたっては、竣工時に化学物質が国の示す指針値以下であることを確認するなど、誰もが安心して施設利用ができるように、室内空気中化学物質の抑制を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	全ての市有建築物工事（耐震及び小規模な改修工事等を除く）において室内化学物質濃度測定を実施し、指針値以下で引渡します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	施設数		100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	化学物質の濃度が指針値以下であることを確認し引渡した施設数 （最終目標と最終年度） 各年度 100%						
						順調	大変順調
					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<p>予定通り、全ての市有建築物工事（耐震及び小規模な改修工事等を除く）において室内化学物質濃度測定を実施し、指針値以下で引き渡しました。</p> <p>この取り組みは、シックハウス症候群等の健康被害防止対策として効果があります。</p>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	<p>化学物質の濃度を指針値以下に抑えるための建築材料及び換気方法等については、信頼性が十分に高いものうち最も安価なものを選定しています。</p> <p>市有建築物の工事の実施主体は市であり、設計及び工事の監督も市が実施しています。その中で市が責任を持って取り組んでおり、民間活力導入の余地はありません。</p>

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後とも健康被害が出ないように、「シックハウス対策」を継続的に進めます。